

「グローバル感染症を学ぶ」

趣 旨

私達は、世界の各国に気軽にでかけることができます。また様々な国からの旅行者・留学生を迎えています。温暖化も容赦なく進み、グローバルに広がる感染症・災害感染症を学ぶことが必要です。ここに皆様と共に学び、私共が大学で行っている研究を紹介します。

日・時

平成30年

9月10日 月
13:00～17:00

場 所

高梁市図書館4階（JR 備中高梁駅に隣接） 多目的室
<https://takahashi.city-library.jp/library/ja>

車で来場の方は図書館駐車場をご利用ください

参加対象

医療機関関係者及び感染症に興味をお持ちの方など

入場
無料

先着 70名様
(予約不要)

プログラム

開会挨拶 河村 顕治 吉備国際大学 副学長（研究担当）

1. 「**グローバル感染症としての災害感染症**」

浩日勒 内モンゴル・国際モンゴル医療病院 研究員

2. 「**グローバル化が進む中の結核医療 ～わが国の外国人結核、多剤耐性結核～**」

小林 信之 国立病院機構東京病院 副院長

3. 「**ザンビアにおける結核検査**」

松葉 隆司 鳥取大学医学部 准教授

4. 「**感染症における重要なメッセンジャー exosome**」

元田 弘敏 吉備国際大学保健医療福祉学部 准教授

5. 「**西ベンガルにおけるコミュニティベースの組織（CBO）との共同研究**」

Samiran Panda インド国立エイズ研究所 所長

6. 「**感染症の新規重症度マーカーとしての Galectin-9 とその分解産物**」

仁木 敏朗 香川大学医学部 助教

7. 「**インドの HIV 感染結核患者のマトリセルラー蛋白**」

Ashwini Shete インド国立エイズ研究所 D研究者

8. 「**HIV 感染に及ぼす galectin-9 の抑制効果**」

前田 洋助 熊本大学大学院生命科学研究部 准教授

質疑応答

閉会挨拶 服部 俊夫 吉備国際大学保健医療福祉学部 教授

主催：  吉備国際大学

協賛：  国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）

後援：  独立行政法人日本学術振興会 / 一般社団法人高梁医師会 / 高梁市

◆ 問い合わせ先 ◆

受付時間（月～金）9:00～17:00

吉備国際大学 AMED 研究室 0866-22-9153

庶務課 0866-22-7404